

第 47 回技能五輪国際大会（フランス・リヨン大会）への選手選考の基本方針

令和 4 年 11 月 8 日

改正 令和 5 年 4 月 6 日

第 47 回技能五輪国際大会（以下「リヨン大会」という。）は、令和 6 年(2024 年)9 月にフランス・リヨンでの開催が予定されている。

実施職種については、第 46 回技能五輪国際大会（特別開催）で実施された職種（プラスチック金型職種を除く）に加え、上海大会で新規提案された 2 職種について仮登録の対象とすることが決定されている。このため、これらの職種について開催参加資格を満たし、参加の意思を有する者を下記の基本方針に基づき、日本代表選手として決定することとする。

なお、大会の実施職種の正式な決定は、競技規則に基づき、大会約 1 年前(令和 5 年 9 月頃)の各国・地域の仮登録状況を踏まえ、実施が決定される。

また、仮登録の職種については、同様に大会約 15 ヶ月前(令和 5 年 6 月頃)に提示される。

(参加資格)

- (1) 日本国籍を有している者
- (2) 過去に技能五輪国際大会（以下「国際大会」という。）に出場したことがない者
- (3) 国際大会の開催年である令和 6 年(2024 年)に 22 歳以下（平成 14 年[2002 年] 1 月 1 日以降に生まれた者）の者※

※「情報ネットワーク施工」職種、「製造チームチャレンジ」職種、「メカトロニクス」職種、「航空機整備」職種、「インダストリー 4.0」職種、「クラウドコンピューティング」職種、「サイバーセキュリティ」職種、「水技術」職種、「3D プリント」職種、「デジタルコンストラクション」職種、「工業デザイン技術」職種、「光電子技術」職種、「ロボットシステムインテグレーション」職種については、国際大会の開催年に 25 歳以下（平成 11 年[1999 年] 1 月 1 日以降に生まれた者）の者

記

- 1 技能五輪全国大会（以下、「全国大会」という。）及び若年者ものづくり競技大会（以下「若年者大会」という。）に関係職種がある国際大会の職種は、次のとおり全国大会及び若年者大会の成績を元に日本代表候補選手を選考する。職種ごとの詳細は別表のとおり。

- (1) 第 61 回全国大会の成績を元に選考される職種
(30 職種)

情報ネットワーク施工、メカトロニクス、機械製図 CAD、溶接、タイル張り、自動車板金、配管、電子機器組立て、ウェブデザイン、電気、工場電気設備、左官、移動式ロボット、家具、建具、建築大工、貴金属装身具、フラワー装飾、洋裁、洋菓子製造、自動車工、西洋料理、レストランサービス、車体塗装、造園、冷凍空調技術、IT ネットワークシステム管理、構造物鉄工、プラスチック金型、試作モデル製作

- (2) 第 18 回若年者大会で同時に実施する選考会の成績を元に選考される職種（2 職種）
業務用 IT ソフトウェア・ソリューションズ、グラフィックデザイン

- (3) 第60回全国大会の成績優秀者を対象に別途開催の選考会の成績を元に選考される職種(3職種)

産業機械、CNC旋盤、CNCフライス盤

※産業機械は全国大会機械組立て及び精密機器組立て成績優秀者、CNC旋盤は全国大会旋盤成績優秀者、CNCフライス盤は全国大会フライス盤成績優秀者が対象

- (4) 第61回全国大会の成績優秀者を対象に別途開催の選考会の成績を元に選考される職種(1職種)

美容／理容

※全国大会美容及び理容成績優秀者が対象

- (5) 過去の全国大会の関係職種に出場し、入賞した実績のある選手で構成されるチームにより出場を希望する企業・教育訓練機関の候補チームから選考する職種(1職種)

製造チームチャレンジ

2 全国大会及び若年者大会の対象職種以外のうち、次の26職種については、以下①～③の事項をすべて満たす場合は、厚生労働省の方針をもとに関係業界団体等から構成される職種別分科会と選考方法等について協議し、職種別分科会が主体となって選考する。ただし、第46回技能五輪国際大会(特別開催)において、敢闘賞以上の成績を収めた職種については、個別に検討する。

- ① 関係業界団体等が、国際大会への参加を活用して人材育成の充実を図る意向があること。
- ② 関係業界団体等が、国際大会に向けた訓練及び派遣の支援体制が構築できること。
- ③ 別途示すガイドラインに従った選考計画を作成すること。当該選考計画は、技能五輪国際大会選手強化委員会による審議及び助言を踏まえ、選考方法として最終決定される。

なお、選手選考方針及び選手選考ガイドラインに基づく職種別分科会による選手選考については、予算の範囲内で選手等強化訓練費を執行することができるものとする。

(26職種)

モバイルアプリケーション開発、印刷、航空機整備、れんが積み、広告美術、ビューティーセラピー、看護／介護、ビジュアル販売促進、建設コンクリート施工、パン製造、インダストリー4.0、重機メンテナンス、3Dデジタルゲームアート、貨物輸送、化学実験技術、クラウドコンピューティング、サイバーセキュリティ、水技術、ホテルレセプション、3Dプリント、デジタルコンストラクション、工業デザイン技術、光電子技術、鉄道車両技術、再生可能エネルギー、ロボットシステムインテグレーション

3 その他

上記1及び2に該当しないこれから新規に提案される職種については、参加国／地域が参加職種を仮登録する際(令和5年6月頃)の対象職種決定後、個別に選考方法等を検討し、選考を行う。